

日時 平成18年6月16日(金)13:30~18:30
場所 宝塚市男女共同参画センター
出席者 (委員)松本(誠)、川谷、村岡、岡田、佐々木、田村、中川
(河川管理者)田中、森田、渡邊、前川、前田、西村、合田
(事務局)林、長尾、植田

内容(協議結果)

1 議題、運営調整(第44回流域委員会等)

協議した結果、次の事項を確認した。

- 1) 新聞報道では、委員会と県幹部の間で意向のズレがあるように感じられる。4月以降の経緯とこうした齟齬について意思疎通を良くしておくために、第45回流域委員会以降の早い流域委員会に五百蔵担当副知事の出席を、運営委員会として要請する。
- 2) 次回流域委員会(6月19日開催予定)の議題は、「流域委員会の任期の延長と提言書提出の8月末への延期および今後の審議スケジュール」「まちづくりワーキンググループからの提言案」「千叡ダムの治水活用検討資料」「新規ダム案の環境影響検討資料」とする。環境ワーキンググループからの提言案は次々回の流域委員会(6月26日開催予定)で提案、協議する。
第53回、第54回運営委員会の協議状況及び今後の流域委員会の審議スケジュール等を報告し、「第43回流域委員会の集約・確認・決定事項」について確認する。
まちづくりワーキンググループからの提言案については、田村主査が提言骨子をベースに説明し、質疑、意見交換を行う。
千叡ダムの治水活用については、県の「千叡ダムの治水活用に関する検討課題」を説明し、委員から提出のあった意見書、質問書をもとに質疑を行う。(意見交換は第45回流域委員会で行う)
「新規ダムの環境影響検討資料」は、委員会としての位置づけをふまえ、資料の内容を説明し、委員から提出のあった意見書、質問書をもとに質疑を行う。(意見交換は第45回流域委員会で行う。)
- 3) 「武庫川水系の利水ダムの治水活用に関する緊急提言書」は、河川管理者から神戸市に渡すこととし、神戸市に下記のことについて回答を求め、また、第44回もしくは第45回総合治水WTに出席するよう要請する。
宝塚市史の千叡ダムに関する記述をふまえ、千叡ダムの治水、利水、環境面での位置づけに関する見解
緊急提言書に記載した個別の提案や治水活用案ならびに質問に対する回答
- 4) 第41回総合治水WT会議で、県から提出のあった「基本方針(原案)、整備計画(原案)」と題した資料は、原案作成前の治水対策メニュー等の資料であることを再確認した。8日の知事との合意に基づき「原案」は委員会からの提言を得た後、その意向を反映する形で原案を作成するため、同WT会議で配布した資料は県が撤回することを了承した。
- 5) 7月上旬開催予定の第46回流域委員会で流域関係7市から、流域委員会の検討内容等についての意見を聴取する。
- 6) 6月末には今後の検討課題と取りまとめる提言の骨格について知事に報告する。また、8月末の提言に向け、8月上旬開催予定の第48回流域委員会で委員会の提言案を提案し、討議を行う。
- 7) 第43回流域委員会で県から提出のあった整備計画の「4つの治水対策メニュー」に対する意見をどのように取り扱うかは、運営委員会で継続協議する。

2 今後2ヶ月余の委員会の諸会議日程

- 1) 7月、8月毎月2回のペースで流域委員会を開催する。
- 2) 8月上旬の流域委員会までは、総合治水のWT会議を継続し、残る諸課題を協議する。
- 3) 各委員から回収できた日程調整表をもとに、8月末までの諸会議の日程案を作成し、6月19日の第43回流域委員会に諮り決定する。(別途資料参照)

3 その他(次回運営委員会の開催日程等)

1) 次回運営委員会の開催日程

- ・ 6月22日(木) 17:30~